

令和元年度 第2回 都民を対象としたテーマ別環境学習講座 実施報告
「生きものの発見！都市のみどりと生物多様性」

□実施日時 令和元年9月21日（土） 10時00分～12時30分
□受講者数 定員30名 受講申込者 67名 当日参加者 33名
□開催場所 深川ギャザリア内ビル会議室、ビオガーデン「フジクラ木場千年の森」
□実施内容

【第1部 講義】

○挨拶 10時00分～10時05分

- ・事務局から受講上の注意、資料確認等
- ・東京都環境局総務部環境政策課環境政策調整担当より
開講挨拶



（開講挨拶）

○講演「発見！都会の生きもの」 10時05分～11時05分

（講師） プロ・ナチュラリスト 佐々木 洋氏

1961年、江戸川区生まれ。（財）日本自然保護協会 自然観察指導員、東京都鳥獣保護員などを経て25年以上にわたり環境教育・自然解説活動を展開。

- ・生物多様性とは、いろいろなものがいて、つながって生きていること。
- ・日本は生物多様性に富んだ国。意外に、東京も豊かである。
- ・生物多様性は数だけでなく、質も問わなければいけない。
- ・クイズをまじえて参加者と対話しながら、下記のようなお話しをしていただいた。
 - 23区内にいるタヌキクイズ（23区内には何匹いるか？など）
 - 生きものかくれんぼ写真（写真に何の生きものが隠れているか参加者に探してもらう）
 - 少なくなった動植物の話（昔に比べ数が減ってしまった生きもの）
 - 生きものの証拠物件（せみのぬけがらなど）
- ・会場からの質問にもお答えいただいた。



（佐々木 洋氏の講演）



(クイズに答える参加者)



(参加者と対話しながらの講演)

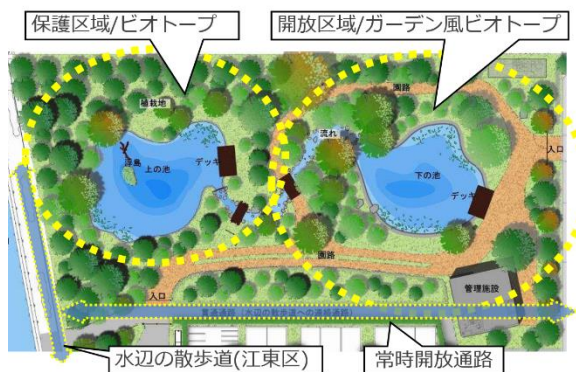
○講義「ビオガーデン『フジクラ木場千年の森』の取組紹介」 11時15分～11時35分

(講師) 株式会社フジクラ CSR推進室 室長 山本 高嗣氏

- ・フジクラ本社は、使用電力の100%を再生可能エネルギーにしている。
- ・地球温暖化問題や海洋プラスチック問題など、地球環境は危機的状況に向かっている。
- ・フジクラグループは、2050年の未来を見据え、環境負荷の最少化に向けた4つのチャレンジに取り組んでいる。
- ・「フジクラ木場千年の森」は、本社敷地の再開発にあたり、緑化への要望や生物多様性への注目が高まったことを受け創設。
- ・荒川流域の自然をモデルにして、生物多様性に配慮した生態系を再現する試みであり、関東の在来種にこだわって設計。
- ・鳥類を頂点とする生態系のピラミッドが形成されている。カワセミも営巣する。
- ・芋ほりや自然観察など、地域の子供たちの自然教育支援も行う。
- ・東京都「江戸のみどり登録緑地」の「優良緑地」に初登録。



(山本氏の講演)



(木場千年の森の区域図)



(「江戸のみどり登録緑地」の優良緑地に登録)



【第2部 自然観察】 11:35～12:30

◆ビオガーデン「フジクラ木場千年の森」の現地説明・自然観察

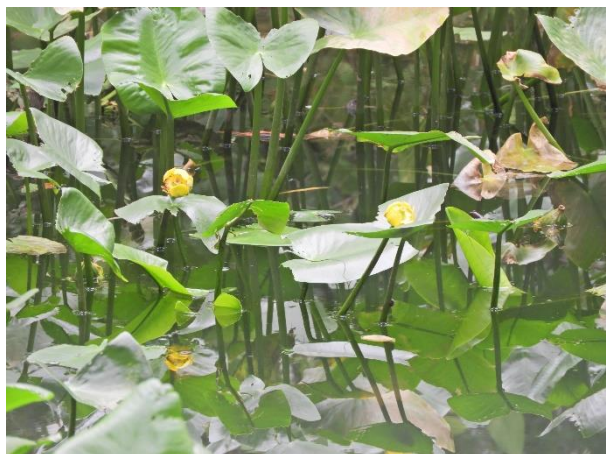
- ・佐々木洋氏の解説を聞きながら、自然観察。
- ・ゴイサギ、キジバト、ジョロウグモ、エンマコオロギなどが観察できた。



(「フジクラ木場千年の森」の入口)



(佐々木氏の説明を聞く参加者)



(池に咲く水生植物 コウホネ)



(コオロギの鳴き声に耳を澄ます)



(見つけた生きものの解説)



(キジバト)



（鳥を探す参加者）



（ゴイサギの幼鳥）



（エンマコオロギの観察）



（自然観察の振り返り）

○「江戸のみどり登録緑地」の紹介

- ・「江戸のみどり登録緑地」は、在来種を積極的に植栽し、生物多様性の保全に取り組んでいる緑地を、東京都が登録・公表する制度。
- ・これらの取組を公表し、その意義を広く都民の皆様に発信することで、「生きものに配慮した緑化の普及拡大」と「東京の生物多様性の保全」に貢献。
- ・令和元年９月現在、登録緑地は８か所。

○アンケート記入・講座終了

参加者の皆様にアンケート記入にご協力いただきました。

当日ご参加いただきました皆様、どうもありがとうございました。